

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千二百八十七號

昭和十八年一月十一日(月)

海軍大臣官房

○ 通 牒

官房備機密第七號

昭和十八年一月九日

要令

海軍省 副官

各 應 長 殿

郵便物ニ關スル件通牒

昭和十七年官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通り改メラレ候

記

附録所在地區別符表(其ノ一) 中末尾ニ「マダン」ウ
壹貳壹」ヲ加フ

附録部隊區別符表(其ノ二) 中末尾ニ「第十一戰隊司

令部」ウ貳壹九」第二特別根據地隊」ウ貳貳〇」第

八特設建設部」ウ貳貳壹」ヲ加フ

同(其ノ四) 中末尾ニ「第二十五特別根據地隊」セ六

六」ヲ加フ

航本機密第一五五二五號

昭和十七年十二月二十八日

海軍航空本部

關係各應御中

昭和十八年度(一七・九・一以降)航空關係統制契約一覽表ノ件送付

首題ノ件別冊ノ通送付ス

(別冊ハ所要ノ向ニ配付ス)

○ 辭 令

軍令部出仕海軍中佐 鷗澤 聰衛

第三部第八課勤務ヲ命ス(ハコ軍令部)

(各通) 江端 正雄

加藤 藤吉

海軍省經理局事務ヲ囑託シ部内限判任官ヲ以テ待遇

セラル(ハコ海軍省經理局)

海軍公報(部内限) 第四千二百八十七號

昭和十八年一月十一日

○司令驅逐艦變更

第六驅逐隊司令ハ二月二日司令驅逐艦ヲ響ニ變更セリ

○郵便物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局經由（軍事郵便）

第十二海軍軍用郵便所氣付

（軍艦初鷹）

○飛行學生入隊ニ關スル件照會

今般當隊第三十九期飛行學生トナルベキ者ハ一月十六

日一二〇〇迄ニ入隊セシメラレ度

（霞ヶ浦海軍航空隊）

○書類再送

自客年八月一日期間ニ於ケル當隊宛書類亡失ニ付再調

製送付方至急取計相成度

（第二〇四海軍航空隊）

（舊第六航空隊）

○失官

○本日普通公報發行セズ

海軍公報

(部内限) 第四千二百八十八號

海軍大臣官房

昭和十八年一月十二日(火)

○令 達

官房空機密第二號

大東亞戰爭中各艦隊並ニ戰隊司令部ハ當該司令部經由ノ飛行機ヲ麾下部隊ニ配屬セン場合ハ其ノ供給先並ニ機種機數(製造番號)ヲ關係海軍航空廠ニ通報スベシ右通報ニ依リ各海軍航空廠ハ供給事務ノ整理ヲ實施スベシ

昭和十八年一月四日

海軍大臣

官房空機密第三號

艦船部隊供用並ニ貸與中ノ海軍航空本部關係兵器(補用品消耗品ヲ含ム)中當分使用ノ見込ミナキモノハ兵器簿定數ノ如何ニ拘ラズ最寄海軍航空廠ニ還納セシムベシ

昭和十八年一月七日

海軍大臣

○通 牒

海人第二號ノ七

昭和十八年一月十一日

海軍省人事局長

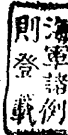
各 應 長 殿

勳章、記章及支那事變論功行賞御沙汰書、亡失ノ場合ノ取扱ニ關スル件通牒

勳章、記章及支那事變論功行賞御沙汰書亡失ノ場合ハ左記ニ依リ取計相成度

記

- 一 御沙汰書、勳章、記章本人ニ交付前亡失ノ場合本人ニ交付前已ムヲ得ザル事故ノ爲亡失ノ場合ハ再下附セラルルコトアルベキニ付當該所轄長ハ別紙第一ニ依リ海軍大臣ニ具申ノコト但シ特務士官以下ニ在リテハ在籍鎮守府ヲ經由スルモノトス
- 二 勳章、記章本人拜受後亡失ノ場合



昭和十一年海人第二號ノ一〇五通牒(諸例則卷二第
四二八頁ノ一參照)ニ拘ラズ當分ノ間各人直接請求
スルコト無ク左ニ依リ士官ニ在リテハ海軍省人事
局、特務士官以下ニ在リテハ在籍鎮守府ノ海軍人事
部ニ照會ノコト

(イ) 亡失者多數アル場合

當該所轄長ハ各人ノ申込書及實費ヲ取總メ勳章記
章亡失者名簿(別紙第二)ヲ添へ前段ニ依リ照會
ノコト

(ロ) 其ノ他ノ場合

本人ヨリイ號ニ準ジ照會ノコト

(註) 一 實費ハ海軍省人事局又ハ海軍人事部ニテ内
示ス

二 申込用紙ハ海軍省人事局又ハ海軍人事部ヨ
リ配付ヲ受クルコト(戰地部隊等ニ在リテハ
便宜別紙第三ニ依リ作成スルモ差支ヘナシ)
尙同用紙ノ事由欄ハ單ニ亡失トシ又現住所ハ
士官ニ在リテハ海軍省人事局、特務士官以下
ニ在リテハ在籍鎮守府ノ海軍人事部トス
(別紙三葉添)

經物第二三一號

昭和十七年十二月三十一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

前金拂又ハ概算拂契約相手方ニ關スル件
通知

經物第一三五號第一第二項ニ依ル首題ノ件左記ノ通承
認致候

記

會社名	所在地
伊奈製陶株式會社	愛知縣知多郡常滑町字扇面新田中三〇〇番地
株式會社深尾製作所	東京市蒲田區南六郷一丁目四三番地
合資會社德永製作所	大阪市豐能郡庄内町大字野田一五三番地
合資會社山中製煉所	大阪市南區安堂寺橋通二丁目三四番地
日本機材株式會社	東京市品川區大崎本町二丁目四四〇番地
新宅工業(伊吹工業所)	大阪市港區市岡濱通一丁目二七番地
株式會社東京試驗機製作所	東京市荏原區荏原一丁目四六三番地

株式會社不二耐久ツル製作所	京都府相樂郡上狛町字學校六番地	株式會社坪田鐵工所	大阪市東淀川區中津濱通一丁目一〇番地
堀(堀空氣機械工作所)	布施市高井田本通二丁目二三番地	甘糟產業汽船株式會社	橫濱市中區真砂町三丁目三二番地
株式會社大成製作所	東京市京橋區京橋一丁目二番地	小(森忠市)株式會社日新計器製作所	臺北州臺北市本町二丁目六番地
中(中谷機械製作所)	大阪市東成區大今里町一九五番地	株式會社日新計器製作所	東京市大森區上池上町二四三番地
株式會社金剛製作所	東京市芝區高輪北町三一番地		
木下清次郎	東京市葛飾區本田寶木塚町三二番地		
神藤鐵工株式會社	大阪市此花區中江町三番地	○辭令	
三元高壓工業株式會社	大阪府南河內郡道明寺村大字道明寺五九番地	第二課勤務ヲ命ス(海軍主計大尉 早川 崇)	
後藤機械製造株式會社	名古屋市中川區四女子町村裏二〇番地	第二課勤務ヲ命ス(海軍主計中尉 荒井 整)	
三國商工株式會社	東京市神田區五軒町四番地	第二課勤務ヲ命ス(海軍主計少尉 小林 申一)	
中野精機株式會社	福岡市大字比惠四六三番地ノ一	驅逐艦望月ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(海軍省經理局長)	
株式會社青森造船鐵工	青森市大字舘貝町一三五番地	○雜款	
合名會社石橋造船鐵工	鳥取縣西伯郡境町岬町四八番地	○郵便物發送先	
三元工業株式會社	大阪市西區新町南通四丁目五番地(第百ビル内)	自今左ニ依リ發送相成度	
日本高聲電話株式會社	神戸市舊合區磯上通四丁目一番地		

海軍公報(部内限) 第四千二百八十八號 昭和十八年一月十二日

海軍公報 (部内限) 第四千二百八十八號

昭和十八年一月十三日

三三

吳郵便局經由 第二十六海軍軍用郵便所氣付

(軍艦りきでじやねる丸)

別紙第一

昭和 年 月 日

海軍大臣 殿

御沙汰書(勳章)(記章)再下附ノ件具申

左記ノ者ニ對スル御沙汰書(勳章)(記章)何々(事由詳記ノコト)ニ依リ亡失致候條再下附相成度

記

所 轄 長 〇

(昭和十八年一月十二日海軍公報(部内限))

御沙汰書、勳章、記章、別勳章	授賜年月日	勳記番號 (假記番號) (行賞通報)	下賜當時ノ官(職)氏名	現官(職)氏名
支那事變御沙汰書 第一次行賞	昭、一五、四、二九	第八回通報 四五頁三段二七行	海軍兵曹長 何 某	海軍少尉 何 某
支那事變從軍記章	同	同	同	同
勳六等瑞寶章	同	同	同	同

備考 一 遞送中ノ事故ニ依ルモノハ顛末書及關係官署ノ證明書添附ノコト

二 論功行賞ト其ノ他ノモノトハ別紙トス

別紙第二

勳章、記章亡失者名簿

現品送付先(郵便物發送宛名) 何々

(昭和十八年一月十二日海軍公報(部内限))

勳章、記章名	價額	下賜當時		現在	
		官(職)	氏名	官(職)	氏名
旭 二		海軍少將	何 某	海軍中將	何 某
功 三		海軍中佐	何 某		
支那事變從軍		海軍中尉	何 某		
瑞 三		海軍大尉	何 某		
大正三九年從軍		同	何 某		
戰 捷		海軍大佐	何 某		
昭和六九年從軍		海軍少佐	何 某		
紀元二千六百年祝典		海軍大佐	何 某		

備考 三通送付ヲ要ス

1860

別紙第三(用紙美濃白紙半葉)

書記官

會計係主任

(昭和十八年一月十二日海軍公報(部内限))

第 號

物品出納簿登記済	
現金出納簿登記済	

一、勳章
 記章
 褒章
 略綬章
 名(等級アルモノハ之ヲ明記スルコト)

右ニ付可然御取計相成度候也

昭和 年 月 日

現住所
氏名印

賞勳局御中

現品領收印

海軍公報

(部内限) 第四千二百八十九號

昭和十八年一月十三日(水)

海軍大臣官房

○告示

海軍省告示第一號ノ二
南東方面艦隊ニ艦隊軍法會議ヲ置ク
昭和十八年一月十二日

海軍大臣

○通牒

軍需衣第六號

昭和十八年一月十三日

各廳長 殿

海軍省軍需局長

准士官以上防著作業衣袴廢止ノ件内報

昭和十七年十月三十日達第二百八十九號ニ依ル服裝令改正ニ依リ新ニ防著作業衣袴制定セラレタルニ伴ヒ從來昭和十七年官房機密第一四一八號ニ依リ貸與中ノ首題被服ハ昭和十八年度限り廢止セララルル豫定ニ付可然準備方取計相成度

○辭令

臺灣總督府地方技師 難波 義造
馬公海軍建築部土木業務ヲ囑託ス(囑託先海軍省)

第八海軍軍用郵便所員ヲ免ス(免同)
事務員 齋藤、隼人

○雜款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

、横須賀郵便局氣付

(軍艦 千代田)

一月十九日迄ニ到達見込ノモノハ

横須賀郵便局氣付

其ノ以後ハ

吳郵便局氣付

(呂號第三十一潜水艦)

海軍公報(部内限) 第四千二百八十九號 昭和十八年一月十三日

吳郵便局留置

(東榮丸監督官)

○書類發送ニ關スル件照會

當軍需部ノ事務ハ兵器關係ヲ除キ總テ馬公海軍軍需部
高雄出張所ニ於テ處理シツツアルニ付兵器關係以外ノ
書類ハ總テ左ニ依リ發送相成度
追テ至急書類ハ必ズ航空便トセラレ度
臺灣高雄市新濱町十號岸壁
(馬公海軍軍需部高雄出張所)

○事務引繼

新任 泰國在勤帝國大使館附海軍武官室兵備品取扱主
任 海軍少佐 稻見 高男
前任 同 海軍中佐 小柴 直貞
右客年十二月十二日事務引繼ヲ了ス

○殘務整理

海軍福澤部隊殘務整理ハ一月六日ヨリ十五日迄元山航
空基地内ニ於テ之ヲ行フ
追テ郵便物ハ左ニ依リ發送相成度
見習尉官關係 海軍軍醫學校
鎮海警備府
其ノ他 (海軍福澤部隊殘務整理員)

○學生入校期

客年九月七日官房機密第一二二七五號ニ依ル本校第七
期特修科學生ハ二月四日始業式ニ付其ノ前日迄ニ着校
セシメラレ度
(海軍機雷學校)

○練習生入校ニ關スル件

來二月五日始業豫定ノ第四十七期潛航術練習生ハ左記
ニ入校セシメラレ度
水雷及水中測的練習生 吳分校
内火及電機練習生 大竹本校
(海軍潛水學校)

○本日普通公報發行セズ

(限 内 部) 1863

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年一月十三日 (水)
海軍大臣官房

○ 通 牒

經物機密第三二號

左記ノ者不都合ノ廉ニ依リ昭和十八年一月一日ヨリ各頭書ノ期間海軍各廳ニ於ケル隨意契約ノ見積加入ヲ停止スルト共ニ附記ノ事件關係者ヲ海軍各廳ニ於ケル契約事務ニ關シ代理人、支配人、番頭、手代又ハ使者トシテ使用スルコトヲ禁止ス

昭和十七年十二月三十一日

海軍省 經理局長

記

停止期間	住 所	會社(商店)名	營業種目	事件關係者
二年	吳市岩方通	加茂常一	家具、指物、建築業	
同	大分市大字大分	株式會社梅林組	土木建築請負業	
同	吳市西二河通	岡部虎一	土木請負、材木業	
同	吳市岩方通	增岡登作	土木建築請負業 海軍用達商	支配人 大洲開三 使用人 河崎弘

海軍公報 (部内限) 號外

同	同	同	同	一 年	同	同	同	同	同	同	同	一年六ヶ月	同	二 年
大阪府中河内郡加美村新家町	吳市溝路町	廣島市似島町	吳市宮原通八丁目	大阪府中河内郡加美村新家町	同	同	吳市岩方通	徳山市西松原町	吳市廣町	吳市公園通	廣島市研屋町	大阪府中河内郡加美村新家町	大阪市港區三先町三丁目	大阪市港區湊屋町一丁目
松田代造	堤波三	田中次一	合名會社水野組	藤田組	毛利利喜衛	若山源六	小島信	小野正二郎	大澤榮三	中川三郎	有限會社大華工業所	大正精機株式會社	合資會社浪華螺施工作所	螺製作業
鐵工業	土木建築請負業	土木運搬業	土木建築請負業	土木請負業	電氣工事請負業	水道工事請負業	同	同	同	土木建築請負業	水道、暖房、冷房各裝置設計請負	秤類	螺製作業	螺製作業
			社員 水野禮三	吳出張所主任 藤田組	店員 内垣内信行						吳支店長 井上口英昌 敏輝			

海軍公報 (部内限) 號外

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
德山市小澤町	吳市廣町	三 東京市京橋區橫町一ノ五ノ	吳市元町	吳市長迫町	吳市廣町	吳市阿賀町	吳市濱田町	東京市世田ヶ谷區松原町	吳市阿賀町	廣島縣安藝郡船越町	滿洲國奉天市大和區霞町	吳市下山手町	吳市本通
伊ヶ崎三助	門田政一	株式會社田口組	浪川敬藏	相原一二三	市藤 市藤 市藤	奥原次郎	三木泰次郎	南波嘉六	佐々木二三	金子子豊	篠内幸太郎	水野超倫	黒川敏郎
土木建築請負業	鐵工業	土木建築請負業	水道工事請負業	同	土木建築請負業	鐵工業	水道工事請負業	土木建築請負業	同	鐵工業	同	土木建築請負業	電氣工事請負業
		吳出張所主任 中邑滿人 取締役 南波周吉											

三

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	六ヶ月	
大阪市北區都島	吳市吉浦町	廣島市研屋町	吳市裏畑町	廣島縣佐伯郡深江村	吳市阿賀町	吳市串通二丁目	廣島市楠木町四	吳市仁方町	吳市宮原通一	吳市藏本通二丁目	吳市本通十二丁目	同	同	同	同	同
井上金屬工業株式會社	中原實穎	藏田兵次郎	水藤薫	板倉榮太郎	前田利一	近藤兵吉	興亞重工業株式會社	壹万鋳製作株式會社	佐村禮三	山田村一	原島啓作	中野佐一郎	岡田光福	日本煖房衛生株式會社	煖房設計設備	
鍛造製品	土木建築請負業	建具金物商	建築請負業	砂利運搬業	鐵工業業	鐵力職	各種内燃機關設計製造	鋳製作業	印刷業	鐵工商	同	土木建築請負業	ペンキ塗業	同	福岡出張所主任 別宮喜十郎	

1867 1868

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
吳市清永通三	吳市廣町	吳市濱田町	吳市岩方通五	尾道市栗原町	下松市大海町	吳市廣町	吳市岩方通十三丁目	吳市廣町橫路	岡山市門田	吳市北迫町	吳市廣町	鳥取市東昌治町	吳市廣町	東京市京橋區銀座三ノ四ノ
後藤多市	西本代吉	相原勝次	新宅善吉	濱原豊	高濱正信	枇杷木多七	坂辺治三良	横手伴藏	山内鶴八郎	武智直一	西本忠雄	介下瀧夫	堀向豊次郎	大倉土木株式會社
土木建築請負業	同	同	電氣工事下請負	建築材料商	土木建築請負業	鐵工業	土木建築請負業	同	鐵工業	建築請負業	鐵工業	元鳥取縣商工技師	鐵工業	土木建築請負業
														吳中張所主任 中原保

海軍公報 (部内限) 號外

五

1868 1867

海軍公報 (部内限) 號外

同	同	同	三ヶ月
廣島市宇品町	吳市中通	徳山市三番町	西宮市北昭和町
濱田一實	田中忠男	河村龍二	押谷工業株式會社
土木建築請負業	自動車修繕請負業	土木建築請負業	パツキン金屬プレス

六

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千二百九十號

海軍大臣官房

昭和十八年一月十四日(木)

○通牒

官房備機密第七號ノ二

昭和十八年一月十三日

内令撰
要登載

海軍省 副官

各廳長 殿

郵便物ニ關スル件通牒

昭和十七年官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通り改メラレ候

記

附録所在地區別符表(其ノ一) 中末尾ニ「シヨートラ

ンドウ壹貳貳」ヲ加フ

附録部隊區別符表(其ノ二) 中末尾ニ「派遣隊 ヲ貳

貳貳」ヲ加フ

同(其ノ三) 中末尾ニ「第一海上護衛隊マニラ方面司令

ヲ加フ

同(其ノ四) 中末尾ニ「第一海上護衛隊昭南方面司令

ヲ加フ

○辭令

(各通)

海軍技術會議 議員海軍大佐 鮫島 素直

海軍技術會議 議員海軍中佐 林田 綱雄

同 源田 實

同 泉 雅爾

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(海軍省)

軍令部課長海軍大佐 鮫島 素直

第四部第九課長ヲ命ス(軍令部)

海軍大佐 鮫島 素直

通信部第九課長兼同第十一課長ヲ命ス(大本營海軍部)

海軍少佐 小泉 義雄

第一課勤務ヲ命ス(海軍省人事局)

○雜款

海軍公報(部内限) 第四千二百九十號 昭和十八年一月十四日

海軍公報（部内限）第四千二百九十號 昭和十八年一月十四日

海軍中尉從七位井駒泰三外三名本月九日飛行訓練
中遭難殉職、一昨十二日霞ヶ浦海軍航空隊ニ於テ
佛式ニ依リ海軍葬儀執行セリ

海軍公報

(部内限) 第四千二百九十一號

昭和十八年一月十五日(金)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房軍第四五號

吳海軍工廠電氣部ニ於テ使用中ノ器具(移動式電池試驗裝置附)ヲ雜役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム。

昭和十八年一月十四日

海軍大臣

公稱番號	船種	所屬	定數別	記事
第五六號	内火傳馬船	吳海軍工廠	臨時附屬	

官房備第九號

第二十六海軍軍用郵便所ハ昭和十七年十一月一日ヨリ、
第二十七海軍軍用郵便所ハ昭和十七年九月十五日ヨリ、
第四十海軍軍用郵便所ハ昭和十七年十二月二十六日ヨリ
ヲ孰レモ事務ヲ開始セリ

昭和十八年一月十四日

海軍公報(部内限) 第四千二百九十一號

昭和十八年一月十五日

三七

官房教第二號

昭和十八年一月十四日

海軍大臣

各艦隊司令官
各鎮守府司令官
海軍省教育局長
海軍大學校長
海軍兵學校校長
海軍機關學校校長
海軍經理學校校長

殿

一 目的

一般教育資料調査ニ關スル件訓令

大東亞戰爭ニ於ケル一般教育資料ヲ調査シ學生、生徒、下士官及兵等ノ教育ニ資スルニ在リ

二 調査事項

- イ 精神教育上參考トナルベキ陣中美談
- ロ 戰場心理ニ關スル事項
- ハ 海軍生徒、下士官及兵教育上考慮スベキ事項

三 資料ノ整理分擔

擔任官	分擔
海軍大學校長	戰場心理ニ關スル事項
海軍兵學校長	兵科將校(兵學校出身)ニ關スル事項
海軍機關學校長	兵科將校(機關學校出身)ニ關スル事項
海軍經理學校長	主計科士官ニ關スル事項
海軍省教育局長	其ノ他士官ニ關スル事項
土浦海軍航空隊	特務士官、准士官、下士官及兵ニ關スル事項(航空關係)
横須賀第二海兵團長	同 右 (航空關係ヲ除ク)

四 調査要領

(イ) 艦船部隊ノ各所轄長ハ適當ナル資料ヲ取纏メ左ノ期日迄ニ整理擔當學校(教育局、海兵團)ニ送付ス
 毎年六月末日及十二月末日ノ二回

(ロ) 但シ戰爭開始以來ノモノハ昭和十八年三月末日迄資料取得ノ都度整理擔任官ハ資料ノ處理及對策案ヲ決定シ左ノ必要職員ヲ集メ研究會ヲ開催ス但シ情況ニ依リ海軍省ニ於テ各研究會ヲ取纏メ開催スルコトアルベシ

教育局所要職員

擔當學校(航空隊、海兵團)ノ所要職員

練習航空隊及海兵團所要職員(特務士官、准士官、下士官及兵ニ關スル研究會ノトキノミ)

各術科學校所要職員(要スルトキノミ)

(ハ) 資料整理擔任海軍省局長、學校長、航空隊司令及海兵團長ハ要スル場合認許ヲ俟テテ所要ノ人員ヲ現地ニ派遣スルコトヲ得

五 所要旅費

研究會及職員ヲ現地ニ派遣ニ要スル旅費ハ請求ヲ俟テ別途配付ス

六 報 告

整理擔任海軍省局長、學校長、航空隊司令及海兵團長ハ資料ノ調査整理ヲ得次第其ノ都度之ニ意見ヲ附シ報告スルモノトス

官房需機密第二八號
 大東亞戰爭中海軍艦船籍ニ編入セラルベキ拿捕船(引揚沈船ヲ含ム)整備ノ爲艦營需品(備品)ヲ要スル場合ハ艦營需品經理規程第七條ニ準ジ海軍軍需部又ハ特設海軍軍需部在庫ノ艦營需品ヲ繰替供給スルコトヲ得捕填費目ハ臨時軍事費、臨時軍事費、造船造兵及修理費、造修費トス

昭和十八年一月十四日

記

官房艦機密第五號ノ五

昭和十八年一月十四日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

兵器簿ノ件通達

潜水艦兵器簿機關長主管ノ部中左記ノ通改正ス

類別	指定	別種	品名	稱數		記	事
				常用	備用		
電球之部	追加	○	水銀健康電球 二三〇〇VV 一型	個	三	九	伊號第七、第八、呂號第三十一、第五十七、第五十八、第五十九、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十七、第六十八潜水艦ヲ除キ全滿
電燈之部	追加	○	水銀健康電燈 一型	組	四	二	伊號第七、第八潜水艦
電球之部	追加	○	水銀健康電球 二三〇〇VV 一型	個	二	六	呂號第五十七、第五十八、第五十九、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十七、第六十八潜水艦
電燈之部	追加	○	水銀健康電燈 一型	組	二		

海軍公報(部内限)第四千二百九十一號

昭和十八年一月十五日

○ 通 牒

官房軍第三七號

昭和十八年一月十三日

海軍省 副官

各鎮守府副官
海軍艦政本部總務部長 殿

工作廳警務部長打合會議ニ關スル件申進

昭和十七年官房第七三六〇號申進首題ノ件中第三號末

尾ニ左記ノ通追加相成候

記

海軍航空技術廠支廠警務部長

(参照) 昭和十七年十二月十日海軍公報(部内限)本欄

兵備四機密第三〇號

昭和十八年一月十四日

海軍省兵備局長

關係廳長 殿

昭和十九年度陸軍戰時召集延期者ニ關ス
ル調査ノ件照會

首題ノ件ニ關シ別紙様式ニ依リ調査ノ上來ル二月十日

迄ニ到着スル様通報相成度
追而内地以外ノ地ニ在ル廳ハ通報ニ不及候

(別紙様式添)

經豫機密第三號ノ一

昭和十八年二月十二日

海軍省 經理局長

關係各所 廳長
關係各支 出官 殿
關係各資 前渡官吏

外貨軍票拂出及引換手續竝ニ外貨軍票ノ
使用取扱ニ關スル件中改正ノ件通牒

記
ピルマニ於テハ新ニハ號小額軍票(十センチ—十錢、
五センチ—五錢、一センチ—一錢)ヲ追加使用ノコト
トナリタル爲首題ノ件中左記ノ通改正セラレ候

外貨軍票拂出及引換手續別表三外貨軍票換算價格中ピ
ルマノ部ニ左ノ如ク加フ

同	同	同
一セント	五センチ	十センチ
一錢	五錢	十錢

昭和十七年經豫機密第三號ノ二八外貨軍票ノ使用取扱ニ關スル件申左ノ通改ム

一ノ表ヲ左ノ通改ム

日 本 通 貨 額	ル ビ ー 軍 票 (<small>ハ</small> 號)	ポ ン ド 軍 票 (<small>ト</small> 號)
十 圓	十 ル ビ ー ス	一 ポ ン ド
五 圓	五 ル ビ ー ス	十 シ ル リ ン グ
一 圓	一 ル ビ ー	
五 十 錢	半 ル ビ ー	一 シ ル リ ン グ
二 十 五 錢	四 分 ノ 一 ル ビ ー	二 分 ノ 一 シ ル リ ン グ
十 錢	十 セ ン ツ	
五 錢	五 セ ン ツ	
一 錢	一 セ ン ト	

三ヲ左ノ通改ム
當分ノ間「ポンド」軍票ノ代リニ補助貨幣トシテ邦貨ヲ使用ス

地 域 別	補 助 貨 幣	補 助 貨 幣 種 別
濠 洲 聯 邦 委 任 統 治 領	邦 貨	十 錢 五 錢 一 錢

五ノ表中「ドル軍票十セソツ」ヲ「同右十セソツ」ニ改ム

第四號ヲ削リ第五號ヲ第四號トシ以下順次繰上グ

(參照) 海軍機密會計法規類集三六及三八頁

軍需第八號

昭和十八年一月十四日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長
各特設海軍軍需部長 殿

艦營需品ノ一部供給並ニ貸與ニ關スル件
通牒

左記艦營需品ニ關シテハ昭和十七年二月十八日軍需機密需第七一號(艦營需品、燃料取扱例規一八二ノ六頁參照)通牒第三號ニ拘ラズ自今艦船側ノ要望及行動地域等ヲ考慮ノ上艦營需品定額表定數變更迄左表ニ依リ備品ハ貸與、消耗品ハ供給ノコトニ取計相成度

1876

海軍公報(部内限)第四千二百九十一號 昭和十八年一月十五日

記

主管別	區別	品名	數稱	貸與供給標準				記事	
				戰艦 (特設空母)	巡洋艦	驅逐艦	其 他 船		
運	備品	厚布蛇管乙	米	二四〇	水母一八〇	一八〇	一二〇	七二	厚布蛇管乙數量ノ必要數
同	同	蛇管接手 中甲	個	厚布蛇管乙數量ノ必要數				マズ	定額表現定數ヲ含
同	同	防火衣乙	枚	應急員					定額表現定數ヲ含
同	同	防火手袋乙	組	總員分					
同	同	防火兜	個	規定通					
同	同	洗濯桶 小大	個	規定通					
同	同	浴槽 乙大	枚	一〇					
同	同	折メス(紐共)	個	各艦應急員總員分					
機	同	泡沫發生器	個	二五	二〇	一〇	適宜		定額表現定數ヲ含
同	同	二號携帶電燈	個	應急員工作員總員分					定額表現定數ヲ含
同	同	ゴム蛇管 戊	個	適宜					主トシテ受給ヲ必 要トスル外戰艦船
同	同	蛇管接手乙	個	ゴム蛇管戊數量ノ必要數					ニ貸與スルヲ原則 トス

四二

同	消耗品	泡沫消火劑	丙	個	泡沫發生器	一個ニ付二〇個程度
同	乾	電池	池	個	適	宜

○ 辭 令

海軍主計大尉 立野 良郎
 第百二海軍燃料廠ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂
 ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計大佐 松田 盛男
 右同分任出納官吏ヲ免ス(以上 上野 時雄 支出官 海軍
 省經理局長)

海軍技術大尉 小倉 龍朗
 浦賀海軍監督官事務所及受持區域内ニ在ル艦裝具事
 務所ニ要スル經費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス
 海軍技師 廣瀬 義信
 資金前渡官吏ヲ免ス(二同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
 第八驅逐隊司令ハ一月五日司令驅逐艦ヲ大潮ニ變更セ
 リ

○郵便物發送先
 自今左ニ依リ發送相成度

司令、軍醫長宛
 主計長、隊機關長宛

大潮 荒潮
 (第八驅逐隊)

宛先ハ下段ノ通記載ノコト但シ()内ハ記載セザル
 コト

一 第六十一驅逐隊司令

橫須賀局氣付 秋月

一 第十一防空隊

橫須賀局氣付 「ツ壹〇五」 壹壹四ッ
 貳壹參

一 高雄、愛宕、摩耶
 各司令部、高雄、
 神國丸

橫須賀局氣付(第十軍用郵便
 所經由) 高雄司令部、愛宕司
 令部、摩耶司令部、高雄、神
 國丸

一 第一海上護衛隊

臺北局氣付 臺北武官府經由
 「イ參六」

一 第十一號掃海艇

吳局氣付(第二十六軍用郵便
 所經由) 第十一號掃海艇

海軍公報(部内限) 第四千二百九十一號 昭和十八年一月十五日

<p>○事務引繼 浦賀海軍監督官事務所資金前渡官吏一月一日事務引繼 了了ス</p> <p>前任 海軍技師 廣瀬 義信 後任 海軍技術大尉 小倉 龍朗</p>	<p>一 愛宕 一月十七日以降横須賀局氣付 (第十軍用郵便所經由) 愛宕 横須賀局氣付(第十二軍用郵 便所經由) 山彦丸</p> <p>一 山彦丸</p> <p>一 那智山丸 吳局氣付(第二十六軍用郵便 所經由) 那智山丸</p> <p>一 第十一特別工作部本部 吳局氣付(第二十六軍用郵便 所經由) 「セ貳壹イ四參」</p> <p>一 第二十五通信隊 吳局氣付(第二十九軍用郵便 所經由) 「セ貳四七六七」</p> <p>一 第一海軍補充部 横須賀局氣付(第十軍用郵便 所經由) 「ウ五〇ウ貳貳五」</p> <p>一 第二海軍補充部 横須賀局氣付(第十二軍用郵 便所經由) 「ウ壹〇五ウ貳貳六」</p> <p>一 南西方面艦隊徵備輸送機隊本部 吳局氣付(第二十六軍用郵便 所經由) 「セ貳壹セ六八」</p>	<p>○事務所設置 第二十四號掃海艇艦裝員事務所ヲ一月七日兵庫縣相生 市播磨造船所内ニ設置シ事務ヲ開始セリ</p>	<p>○事務開始 軍艦天龍殘務整理ハ一月九日舞鶴海軍經理部内舞鶴鎮 守府艦船部隊殘務整理班内ニ於テ事務ヲ開始セリ 追テ郵便物ハ同班内上田部隊宛發送相成度</p> <p>○正誤 一月七日附公報(部内限) 辭令欄海軍少佐赤堀次郎ノ 辭令中「昭和十七年十二月二十八日海軍省」ハ「昭和 十七年十二月二十八日海軍省人事局」ノ誤</p>
--	--	---	--

(別紙様式)

兵役關係人員調査表

(昭和十八年一月十五日海軍公報(部内限))
 昭和十八年二月一日現在
 應召名

官名	在職男子 總人員	在職陸軍兵役關係者員數		合計	在職 子女 職員 中者 中者	入 營 中者 中者	應 召 中者
		豫備役及補充兵役 歸還者ノ其他者計	國民兵役 歸還者ノ其他者計				
勅任官及委任官							
判任官							
雇員及傭人							
工員及傭員							
合計							

調製上ノ注意

- 一、調査ハ二月一日現在員數トス
- 二、在職男子總人員ニハ入營、應召中ノ者及現役軍人ヲ含マズ
- 三、歸還者トハ左記該當者トス

記

- 豫備役將校
 (イ) 昭和十二年七月以後任官セル幹部候補生出身ノ將校ニ在リテハ三年以上在隊シタル者(兵ヨリ通算スルモノトス)
 (ロ) 其ノ他ノ將校ニ在リテハ昭和十二年七月以後二年以上應召シタル者
- 豫備役准士官
 昭和十二年七月以後二年以上應召シタル者
- 豫備役及國民兵役下士官
 (イ) 昭和十二年七月以後任官セル幹部候補生出身ノ下士官及志願ニ依ラザル下士官ニ在リテハ三年以上在隊シタル者(兵ヨリ通算スルモノトス)
 (ロ) 其ノ他ノ下士官ニ在リテハ昭和十二年七月以後二年以上應召シタル者
- 豫備兵及現役出身ノ國民兵
 (イ) 昭和十二年七月以後現役滿期シタル兵ニ在リテハ三年以上在隊シタル者
 (ロ) 昭和十二年六月以前ニ現役滿期シタル兵ニ在リテハ昭和十二年七月以後二年以上應召シタル者
 補充兵及國民兵(現役出身者ヲ除ク)
- 昭和十二年七月以後二年以上應召シタル者
- 四、應召ニハ教育召集、演習召集ニ依ル應召ヲ含ム但防衛召集ニ依ル應召ハ含マザルモノトス
- 五、期間ノ計算ニ方リテハ入營、應召、除隊、召集解除ノ月ハ夫々滿一月トシテ計算スルモノトス
- 六、在隊期間トハ入營、應召ヲ問ハズ在隊セシ期間ヲ謂フ
- 七、用紙ハ日本標準規格B列5號トス

(限 内 部)

内令提
要登載

海軍公報 (部内限) 第四千二百九十二號

昭和十八年一月十六日 (土)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第九〇〇號ノ二
舞鶴鎮守府第三特別陸戰隊ノ設營ニ要スル機械、器具
及材料ノ供給及整理ハ昭和十六年官房機密第一一四三
七號 (昭和十七年官房機密第九〇〇號改正) ニ準ジ行
フモノトス
但シ其ノ供給擔任建築部ヲ舞鶴海軍建築部トス
昭和十七年五月五日

海軍大臣

(参照) 昭和十六年十二月五日及同十七年一月二十二日海軍公報
(部内限)

官房軍機密第四九號
大東亞戰爭中海軍特別根據地隊、特設根據地隊、海軍
警備隊及特設警備隊現狀報告ニ關スル件左ノ通定ム
昭和十八年一月十三日

海軍大臣

海軍公報 (部内限) 第四千二百九十二號 昭和十八年一月十六日

四五

第一條 司令官又ハ司令ハ毎月一日現在ニ付別表及附
表ニ依ル現狀報告 (用紙美濃判) ヲ作製シ海軍大臣、
軍令部總長、所屬長官及在籍ノ鎮守府司令長官ニ提
出スベシ

第二條 部隊ノ配備圖及現在員ニ對スル特修兵別並ニ
拿捕船及鹵獲兵器ノ要目ハ別ニ作製シ第一回ノ現狀
報告ニ添付スルモノトス爾後大ナル變更アリタル場
合ニ付亦同ジ
(別表二葉添)

官房軍機密第五九號

昭和十八年一月十五日

内令提
要登載

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十七年官房機密第二九六五號別表中左ノ通改正ス
海軍水雷學校及海軍機雷學校ノ項中ニ各「第六潜水
隊」ヲ加フ

海軍公報(部内限)第四百二百九十二號

昭和十八年一月十六日

四六

海軍潜水學校ノ項中「長鯨」ヲ削ル

(内令提要卷三、六〇頁参照)

官房教第四號

昭和十八年度及十九年度各種學生ヲ別表ニ依リ採用ス

昭和十八年一月十五日

海軍大臣

(別表添)

○通牒

官房備機密第七號ノ三

昭和十八年一月十五日

内令提
要登載

海軍省副官

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

昭和十七年官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附録部隊區別符表(其ノ一)中「第七〇七航空隊」

「壹五八」ヲ削リ末尾ニ「第二通信隊」

「第一特陸」

「第二海軍補充部」

「第一海軍補充部」

「第二海軍補充部」

「第一海軍補充部」

「第二海軍補充部」

「第一海軍補充部」

「第二海軍補充部」

「第一海軍補充部」

「第二海軍補充部」

二海軍補充部「七六六」ヲ加フ

同(其ノ四)中「九五六航空隊」

「七六〇」ヲ削リ末

尾ニ「第二十五通信隊」

「七六七」

「南西方面艦隊徵備輸

送機隊本隊」

「七六八」

「南西方面海軍航路部」

「七六九」

ヲ加フ

軍需機密第二六號

昭和十八年一月十五日

海軍省軍需局長

海軍省經理局長

關係各廳長殿

艦營需品竝ニ燃料亡失等ノ證明書ニ關ス

ル件申進

大東亞戰爭中戦闘ニ因リ亡失等ヲ爲シタル場合艦營需

品經理規程第二十九條及燃料經理規程第三十三條ノ規

定ニ依ル證明書ノ取扱ニ關シテハ左記ニ依リ處理相成

度

一 軍機ニ亙ル事項ヲ記載スルコトナク「左記物品ハ

昭和何年何月何日戦闘ニ依リ亡失(何々)セリ」ト

簡單ニ理由ヲ記載スルコト

二 全部亡失ノ場合其ノ數量不明ナルトキハ「全部亡

失」ト記載スルコト

三 遺失ノ場合其ノ數量不明ナルトキハ「全部亡

失」ト記載スルコト

失」ト記載スルコト

失ト記載スルコト
三 所管又ハ所屬海軍軍需部兵備品出納命令官本證明書ヲ受ケタル場合ハ關係海軍軍需部ニ通報スルモノトス

○ 辭令

第四艦隊司令部附線路工員 幡田 理三郎
第四艦隊司令部附ヲ免シ横須賀鎮守府附ヲ命ス
(昭和十七年海軍省)

千貳百圓 長野 五郎
千貳拾圓 水谷 諭吉
(各通)

自今徵用中年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(昭和十七年海軍省)

軍司令部出仕海軍大佐 黛 治夫
第一部兼第二部勤務ヲ命ス(昭和十七年軍令部)

海軍軍醫學校研究業務ヲ囑託ス
但シ報酬月額八十五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(昭和十七年海軍軍醫學校)

○ 雜款

○普通軍事教育圖書 昭和十七年十二月中納庫セル普通軍事教育圖書左ノ如シ (海軍文庫)		圖書名	標記番號	類別
海軍體操教範	海軍省教普 第七百三號	備品		
交那忠勇列傳、陸軍之部 第二四卷	海軍省教普 第七百二十七號	備品		
男爵坂本俊篤傳	海軍省教普 第七百二十七號	消耗品		
砲隊操式草案	海軍省教普 第七百十八號	消耗品		
砲隊教範草案	海軍省教普 第七百十七號	消耗品		
米國海軍短艇艇長勤務參考書		消耗品		
セイロン紀行		消耗品		
ペーリング海周航記		消耗品		
○郵便物發送先 自今左ニ依リ發送相成度				
司令、隊機關長、隊宛	谷風			
軍醫長宛	浦風			

海軍公報(部内限)第四千二百九十二號

昭和十八年一月十六日

四七

主計長宛

濱風

(第十七驅逐隊)

隊、司令、軍醫長、主計長宛

卷波

隊機關長宛

長波

(第三十一驅逐隊)

隊、司令宛

呂號第五十九潜水艦

隊機關長宛

呂號第五十七潜水艦

(第六潜水隊)

宛先ハ下段ノ通記載ノコト但シ()内ハ記載セザル
コト

一 舞鎮第四特陸

横須賀局氣付(第十二軍用郵便所經由)

一 第一防空隊

横須賀局氣付(第十二軍用郵便所經由)

一 鶴見、野島、磯波

横須賀局氣付(第十二軍用郵便所經由) 鶴見、野島、磯波

○事務所設置

諸間海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所ヲ一月七日
日小松島海軍航空隊内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去

第八海軍建設部ハ一月十一日海軍省第四分室内事務所
ヲ撤去セリ

第一海軍補充部、第二海軍補充部事務所ハ一月十四日
撤去セリ

第四魚雷調整班事務所ハ一月十五日撤去セリ

三 一	三 〇	二 九	二 八	二 七	二 六	二 五	二 四	二 三	二 二	二 一	一 〇	一 九	一 八	一 七	一 六	一 五	一 四	一 三	一 二	一 一	一 〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日 艦 艇 名			
																		△△△-〇〇〇	渠 入 テ 於 ニ 〇 〇										〇 〇 丸					
																		衛 護 團 給 間			港 外 哨 戒			港 外 哨 戒			港 外 哨 戒			港 外 哨 戒			〇 〇 丸	第 〇 〇 驅 潛 隊
																		外 港 〇 〇 戒 哨			道 水 〇 〇 蕩 掃 潛 對												〇 〇 丸	

(附 表)
 (ゴジックハ記入例ヲ示ス)
 (昭和十八年一月十六日海軍公報(部内限))
 附 屬 艦 艇 行 動 經 過 概 要

海軍公報

(部内限) 第四千二百九十三號

昭和十八年一月十八日(月)

海軍大臣官房

○ 辭 令

(各通)

遞信局書記補 阿部 日出生
事務員 船津 裕

第六海軍軍用郵便所員ヲ免ス(訃海軍省)

遞信局書記補 高橋 繁

第十海軍軍用郵便所員ヲ命ス

(各通)

通信書記 片山 要八
同 平澤 末市

第十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス

(各通)

事務員 守山 茂
同 進士 清
同 相田 照重

第十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

海軍豫備學生(飛行科) 降旗 二朗

海軍豫備學生(兵科)ヲ命ス

(各通)

海軍豫備學生(兵科)ヲ免ス

(各通)

海軍豫備學生(飛行科)ヲ免ス

海軍豫備學生(整備科)ヲ免ス(以上十名同)

(各通)

大槻 忠夫
比村 萬式
北澤 龍太郎
久保田 瑞穂
愛甲 温彦
守岡 陽一
今村 知明
池上 哲郎
海軍大佐 大谷 由也(佐工廠)
海軍中佐 奥田 増藏(艦 本)
同 江見 哲四郎(同)
同 安久 榮太郎(伊三潛)
同 上出 俊二(航 本)
海軍少佐 鈴木 清臣(佐工廠)
同 河野 克次(伊三潛)

1886

海軍公報(部内限)第四千二百九十三號 昭和十八年一月十八日

五〇

海軍大尉 西松 張尾(同)
伊號第三十八潜水艦審議委員ヲ命ス(十師海軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第十五潜水隊司令ハ一月七日司令潜水艦ヲ伊號第三十二潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度
司令、隊宛

伊號第三十二潜水艦
(第十五潜水隊)

○事務開始
姫路海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ヲ一月四日徳島海軍航空隊内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○本日普通公報發行セズ

(限 内 部)

1887

海軍公報

(部内限) 第四千二百九十四號

海軍大臣官房

昭和十八年一月十九日(火)

○ 辭 令

海軍規格審議會議員ヲ命ス(十四海軍省) 海軍少佐 大塚 昌三

海軍技術會議員海軍中佐 中野 實

海軍艦政本部技術會議員ヲ命ス(十四同)

第五十四警備隊附海軍中尉 古賀 慶一

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察

官トシテ勤務スル者ニ指定ス

第五十四警備隊附海軍大尉 酒 井 清

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察

官トシテ勤務スル者ニ指定中ノ處指定ヲ解ク(以上

十四海軍大臣)

軍令部部員海軍中佐 石渡 貞良

第三部第五課勤務ヲ命ス(十四軍令部) 海軍中佐 石渡 貞良

參謀部第三部第五課勤務ヲ命ス(十四大本營海軍部)

第一課勤務ヲ命ス(十四海軍省人事局) 海軍少佐 大松 勝藏

○ 雜 款

○司令砲艦變更
第二砲艦隊司令ハ一月十二日司令砲艦ヲ億洋丸ニ變更セリ

○事務所設置
伊號第八十二潜水艦艇裝具事務所ヲ一月十六日横須賀海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
伊號第八十潜水艦艇裝具事務所ヲ一月十五日之ヲ撤去セリ

海軍公報(部内限) 第四千二百九十四號 昭和十八年一月十九日

海軍公報

(部内限) 第四千二百九十五號

昭和十八年一月二十日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房艦機密第五號ノ一〇

昭和十八年一月十九日

各鎮守府司令長官殿
兵器簿ノ件通達
各艦兵器簿機關長主管ノ部中左記ノ通改正ス

記

類 別	指 定	種 別	品 名	數 稱	常 備 數	雜 記
電 燈 之 部	削 除		エ式受金 艦飾燈用	個	全 部	
同	削 除		保 護 ガ ー ド	個	全 部	艦飾燈用
電 球 之 部	削 除	○	エ式六〇W電球 各種	個	全 部	同
同	削 除	○	エ式二〇W電球 各種	個	全 部	同
諸 要 具 之 部	削 除		艦飾燈用電線 各種	米	全 部	

○辭 令

南洋廳氣象臺技師 原 田 一 司

南洋廳氣象臺技師 小 澤 清
同 石 井 恒 彦
同 岩 村 久 夫

海軍公報(部内限) 第四千二百九十五號 昭和十八年一月二十日

(各通)

南洋廳氣象臺技手 下村 悟
同 榎 渡 忠

同 中村 浩平

同 妹尾 壽夫

同 岡野 井

同 藤本 泉

第四艦隊司令部附ヲ免ス(臨時海軍省)

通信事務官 根本 定二

第十四海軍軍用郵便所長ヲ命ス

遞信局書記 田畑 宮男

通信書記 當 善助

同 富山 亥三郎

同 豊島 林之助

通信書記補 宮本 武

第十四海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 加藤 賢吉

同 榎本 時美

同 小森 良助

同 下田 輝久

同 嵯峨 重信

同 仙波 茂

(各通)

同 綾部 幸良

同 集配員 八島 善吉

第十四海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

遞信局事務官 谷本 繁太郎

第二十九海軍軍用郵便所長ヲ命ス

通信事務官 高岡 清四郎

簡易保險局書記 米山 慎治

遞信局書記 苗代 正雄

同 海野 保

通信書記 高井 保

通信書記 都竹 應雄

通信書記 高松 茂

同 天羽 榮治

通信書記補 西井 敏弘

同 羽野 彦一

第二十九海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 竹村 美好

同 中岡 保雄

同 角倉 一

同 高橋 幹雄

(各通)		同	山本 福定
(各通)		同	玉置 義弘
(各通)		同	義倉 大宜
(各通)		同	三品 三郎
(各通)		同	瀧 三實
(各通)		同	淺井 清
(各通)		同	岡本 政一
(各通)		同	中村 重教
(各通)		同	和田 新一
(各通)		同	中島 融
第二十九海軍軍用郵便所員ヲ命ス 但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上七名同)			
(各通)		遞信技師	岸田 幸太郎
(各通)		遞信局技手	井口 菊次郎
(各通)		同	荒木 萬喜雄
(各通)		遞信技手	飯澤 房一
(各通)		遞信局技手	江藤 魯一
(各通)		遞信技手	府川 金次郎
(各通)		同	池田 正
(各通)		遞信局技手	國分 昇
(各通)		遞信技手	森本 尊夫
第一海軍軍用郵便所員ヲ免ス(七名同)			
(各通)		遞信局技手	松本 治作
(各通)		同	松井 健次
(各通)		遞信技手	久保田 彦四郎
(各通)		遞信局技手	青木 元治
東京海軍通信隊附兼海軍技術研究所附ヲ免シ聯合艦隊司令部附ヲ命ス(七名同)			
(各通)		通信書記	齋藤 春一
(各通)		同	浦岡 榮治
(各通)		第一海軍軍用郵便所員ヲ免ス(七名同)	海軍中佐 泉 雅爾
第一課勤務ヲ命ス(七名海軍省軍務局)			
(各通)		海軍大佐	堀江 義一郎(艦本)
(各通)		海軍中佐	有馬 時吉(清波)
(各通)		同	大崎 行三(艦本監)
(各通)		同	末永 直二(艦本)
(各通)		海軍少佐	川又 政信(同)
(各通)		海軍大尉	田中 繁雄(清波)
(各通)		同	齋 祐(同)
(各通)		海軍中尉	齋藤 勇三郎(同)
(各通)		海軍技術大尉	小倉 龍朗(艦本監)
(各通)		海軍豫備中尉	渡邊 壽美(清波)

海軍公報(部内限) 第四千二百九十五號 昭和十八年一月二十日

<p>驅逐艦清波審議委員ヲ命ス</p> <p>海軍技師 宇津見 謙介(艦本監)</p> <p>海軍大佐 堀江 義二郎(艦本)</p> <p>同 佐藤 佐(同)</p> <p>同 渡邊 敬之助(艦本監)</p> <p>同 小山 敏明(艦本)</p> <p>同 栗林 今朝吉(足摺)</p> <p>海軍中佐 南 六右衛門(軍務)</p> <p>同 岩 城 繁(軍命)</p> <p>海軍少佐 坂上 五郎(艦本)</p> <p>海軍大尉 清水 重太郎(足摺)</p> <p>同 市村 靖三郎(同)</p> <p>海軍軍醫大尉 後藤 忠喜(同)</p> <p>海軍主計大尉 堀 毅比古(同)</p> <p>海軍技術中佐 本多 政徳(艦本監)</p> <p>海軍技術大尉 吉 田 隆(艦本)</p> <p>海軍豫備大尉 坂口 三郎(足摺)</p> <p>同 長谷 敷夫(同)</p> <p>海軍技師 寄 田 豊(艦本監)</p> <p>特務艦足摺審議委員ヲ命ス</p> <p>海軍大佐 堀江 義一郎(艦本)</p>	<p>同 佐藤 佐(同)</p> <p>海軍中佐 三好 孝平(艦本監)</p> <p>海軍技術中佐 本多 政徳(同)</p> <p>海軍豫備大尉 重富 秀男(四驅潜)</p> <p>海軍技師 寄 田 豊(艦本監)</p> <p>第四十一號驅潜艇審議委員ヲ命ス</p> <p>海軍中佐 山本 良材(艦本監)</p> <p>海軍豫備大尉 安藤 久吉(白埼)</p> <p>海軍技師 石橋 福次(艦本監)</p> <p>同 大野 英雄(同)</p> <p>同 小野寺 廣介(同)</p> <p>特務艦白埼審議委員ヲ命ス</p> <p>海軍大佐 岸 兵二(艦本監)</p> <p>海軍豫備大尉 松島 卓男(二四掃)</p> <p>海軍技師 根岸 秀夫(艦本監)</p> <p>同 山本 茂(同)</p> <p>第二十四號掃海艇審議委員ヲ命ス(以上皆海軍艦政本部)</p>
--	---

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
 第十一潜水隊司令ハ客年十二月二十四日司令潜水艦ヲ
 伊號第七十六潜水艦ニ變更セリ
 第一潜水隊司令ハ客年十二月二十六日司令潜水艦ヲ伊
 號第十八潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
 宛先ハ下段ノ通記載ノコト但シ()内ハ記載セザル
 コト

一 第十九設營隊

吳局氣付

〔七四壹 ヲ貳〇壹〕

同隊第一班

吳局氣付

〔七四壹 ヲ貳〇壹 ヲ貳〇八〕

一 大潮司令、大潮、荒潮

横須賀局氣付(第十二軍用郵便所經由) 大潮司令、大潮、荒潮

一 滿潮

横須賀局氣付(第十軍用郵便所經由) 滿潮

一 長鯨司令部、長鯨、伊百二十一潛、呂百潛

長鯨司令部、長鯨、伊百二十一潛、呂百潛

○事務所設置

○事務所開始
 知多海軍航空隊(假稱)、綾瀨海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所ヲ客年十二月二十一日相模野海軍航空隊内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務所移轉
 大湊艦裝具事務所ハ二月十四日艦内ニ移轉セリ

出水及指宿海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ハ一月十五日鹿兒島縣出水郡出水町出水海軍航空隊設立準備事務所内ニ移轉セリ

○本日普通公報發行セズ

○事務所設置
 黄流海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ヲ海南警備府内ニ設置ス
 追テ郵便物ハ自今左ニ依リ發送相成度
 佐世保郵便局氣付
 第八海軍軍用郵便所經由
 海南警備府内